

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

NPO法人ミライノタネ

- ・理事会（開催年月日 令和8年4月27日）
開催場所 島根県鹿足郡津和野町河村1159-8
出席者数 4名（理事人数 4名）
議決事項の概要 令和7年度事業決算、次年度の事業計画について
- ・総会（開催年月日 令和8年4月27日）
開催場所 島根県鹿足郡津和野町1159-8
出席者数 12名（うち表決委任者 3名）／正会員数 12名
議決事項の概要 令和7年度事業決算と、次年度の事業計画について。

1. 事業の全体像

本法人は、津和野町の豊かな自然環境を活かし、子どもを中心とした自然体験活動を通じて、人づくりおよび地域づくりに寄与することを目的として事業を実施した。

また、地域資源の活用と循環を軸に、教育および人材育成を横断した取り組みを行った。

2. 今年度の特徴（事業の広がりと社会的意義）

本年度は、これまで継続してきた自然体験活動を基盤に、教育・地域・人材育成を横断する取り組みとして発展させた。

補助金を活用した事業においては、学校教育との連携により、事前学習から体験、振り返りまでを一体化した教育プログラムを実施し、津和野町の自然環境や産業を自分事として捉える学びの場を構築した。さらに、公民館や地域団体との連携により、子どもだけでなく大人も含めた多世代が地域資源に触れる機会を創出した。

また、高校生・大学生等を対象とした学生キャンプの実施により、若者が地域の自然や人と関わる機会を広げ、将来的な地域人材の育成につながる取り組みを進めた。

これらの取り組みを通じて、自然体験を起点とした「人づくり」と「地域資源の活用」を両立する教育モデルの具体化が進展した。

3. 事業内容

（1）自然体験・教育事業（補助金事業）

本年度は、**しまね環境保全活動助成金**および**津和野町森林環境教育支援事業補助金**を活用し、津和野町の自然環境を活かした教育プログラムを実施した。

本事業では、森林資源の循環をテーマに、学校教育と連携した体験型プログラムとして以下の内容を一体的に展開した。

- ・学校連携型プログラム（森林資源循環・農林業体験）
津和野中学校における農林業体験や、日原小学校での森林学習を実施した。事前学習から体験、振り返りまでを一体化し、地域の自然環境や産業を自分事として捉える学びを提供した。
- ・地域連携型プログラム

公民館と連携した鮎の友釣り体験など、地域住民も含めた自然体験の機会を創出し、地域資源の価値を再認識する場を提供した。

・学生キャンプ

高校生・大学生等を対象に、森林の中での体験と対話を通じて地域への理解と愛着を育むキャンプを実施した。若者が主体となる学びと人材育成の場となった。

（２）夏休みキャンプ事業（自主事業）

夏休み期間に、小学生を対象とした自然体験キャンプを実施した。

津和野町の清流・高津川や枕瀬山キャンプ場といった恵まれた自然環境を活かし、鮎の友釣り体験や川遊びを中心とした日帰りおよび宿泊プログラムを展開した。

本事業は、これらの自然環境を教育資源として活用するものであり、子どもたちの学びと成長の機会を提供するとともに、地域の魅力を体感できる機会として、関係人口の創出や将来的な移住促進にもつながる意義を有している。

各コースは、子どもが主体となって遊び・挑戦することを重視し、自然の中での自由な体験を通じて成長を促す内容とした。

また、親子で参加できる日帰りコースや、子どもだけで参加する宿泊コースなど、参加形態の異なる複数のプログラムを設定し、幅広いニーズに対応した。

（３）人材育成（横断的取り組み）

各事業において、高校生・大学生・地域の若者がスタッフとして参画したり、学生キャンプに参加したりと、同世代や子どもと関わる実践の中で学びと成長の機会を得た。

これにより、体験活動の意義を次世代に感じてもらい、子ども時代の体験が将来的な担い手へとつながる人材育成の循環の形成が進みつつある。

４．事業の成果

本年度は、自然体験活動を通じて、子どもから大人まで幅広い層に対し、津和野町の自然環境の価値を体感する機会を提供した。

参加者アンケートでは、補助金を活用した教育プログラムにおいては NPS60～90 台と高い満足度が得られた。一方で、夏休みキャンプ事業（自主事業）においては NPS10.5～51 とプログラムごとにばらつきが見られた。

この背景として、体験型の活動を通じて子どもたちが主体的に挑戦し、成長を実感できたことに加え、学校連携プログラムにおいては事前学習から体験、振り返りまでを一体化した構成により、地域の自然環境や産業を自分事として捉える学びにつながったことが挙げられる。

また、公民館や学校、行政、地域の農林業関係者等との連携により、地域全体で子どもを育てる教育環境の基盤づくりが進んだ。特に森林資源循環を軸としたプログラムでは、学校教育と地域資源を結びつけた実践的な教育モデルの具体化が進展した。

さらに、高校生・大学生等を対象とした学生キャンプでは、参加者の満足度も高く（NPS70 程度）、地域への関心や愛着の醸成につながるなど、若者の人材育成の観点からも成果が見られた。

一方で、夏休みキャンプ事業においては、メインメンバーの体調不良による離脱により、事前準備や当日の運営体制が十分に整わなかったことが影響し、満足度にばらつきが生じた。特に日帰り川遊びキャンプ初回においては、準備不足により参加者を長時間待たせてしまい、満足度の低下に大きく影響した。その後は体制の立て直しにより改善傾向が見られた。

5. 今後の課題

夏休みキャンプ事業においては、運営メンバーの体調不良による離脱があった際に、事業全体の運営体制に影響が生じた。特に一部プログラムでは事前準備や当日の進行に支障が出るなど、参加者満足度にも影響が見られた。

このことから、特定のメンバーに依存した運営体制となっていたことが課題として明らかとなった。今後は、役割分担の明確化や複数人での運営体制の構築、事前準備および当日の運営フローの標準化を進め、安定的に事業を実施できる体制づくりが必要である。

また、プログラム内容と参加費のバランスや、参加者への事前情報の伝え方についても見直しを行い、参加者の期待に応える事業設計の精度を高めていく必要がある。

6 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施事業の 日時、場所、 従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数	事業費の 金額 (単位：千円)
①子どもの教育・子育て環境の充実を図る事業 a)夏休みキャンプ	川遊びキャンプ 鮎づくしキャンプ	令和7年7月19日、20日、 21日、25-26日の5日間 枕瀬山キャンプ場・高津川 従事者のべ50名	鹿足郡、益田市、 浜田市、山口市の 小学生とその保護 者 のべ186名	892
b)学校教育における 森林資源循環	・津和野中学校農 林業体験	令和7年10月6日、8日、9 日、21日 津和野中学校教室 木部地域の山林や農地 のべ20名（教員は含めず）	津和野中学校 2年生18名	889
	・日原小学校森林 資源総合学習	令和7年11月19日 枕瀬山友好の森 4名（教員は含めず）	日原小学校 5年生18名	
c)社会教育における 森林資源循環	青原地域対象友釣 り体験	令和7年8月24日 青原地域高津川河原 7名	青原地域全世代 小中高生5名 大人5名 計10名	
②学生・若者・子育て世代のキャリア形成を支援する事業 a)若者・学生ボランティアスタッフ育成	キャンプ事業での 高校生・大学生・ 若者等のボラン ティアスタッフ募集 と育成	令和7年7月19日、20日、 21日、25-26日の5日間 枕瀬山キャンプ場・高津川 従事者のべ50名	近隣高校生、大学 生、町内若者 23名	0
②学生・若者・子育て世代のキャリア形成を支援する事業 b)学生キャンプ	高校生、大学生、 若手社会人向け 対話キャンプ	令和7年7月5-6日 枕瀬山キャンプ場・高津川 従事者4名	町内、近隣在住の 高校生、大学生、 若手社会人 10名	① a)に含ま れる
③地域の資源、特色 を活かしたイベント の開催等により観光 や中山間地域の発展 を図る事業 a)夏休みキャンプ	①に同じ			
c)社会教育における 森林資源循環				
④その他目的を達成 するために必要な事 業	特になし			